

新宮山彦ぐるーぷ第2187回

行仙宿補給路の段差補修

◇実施日 6月19日(日)

晴時々曇り

◇参加者 梶野照雄

1名

19日は計画された行事は無かったが、梅雨の間の貴重な晴予報なので、補給路モノレール終点すぐ上の段差補修を行った。
午前10時前に登山口に着き、道具類をモノレールに積んで登りだした。10m位進んだ所で車のクラクションが2回聞こえた。
モノレールを止めて下を見ると湯川君の車だった。



登山口を出る

砂は登山口に

碎石などを積む

お母さんに乗せてドライブのついでに、自宅の新築工事が出た砂や碎石を積んできたという。一旦終点まで上がって道具類を降ろし、

再び登山口に降りた。

砂が20袋ほど、碎石などが30袋ほどあった。総重量は1トン近くあるのではないだろうか。乗用車に良くこれだけ積んできたものだ。砂は登山口に残して碎石類をモノレールに積んで登る。



ピカピカになった流し

碎石を降ろす

エンジン掛からず歩いて

碎石をモノレールに積んでいる間に、湯川君のお母さんは鉄梯子横の流しをクレンザーできれいに磨いてくださった。前に来た時に汚れているのが気になって、今日はクレンザーやたわし、ゴム手袋などを用意してきたそうだ。

碎石と湯川君を乗せていたためか、登るスピードが少し遅いように感じた。碎石を終点に降ろして湯川君を登山口に降ろそうとエンジンをかけたが、何度やっても始動せず湯川君は歩いて登山口に降りた。

道具類を補修現場に運び工事を開始する。
腐って隙間が空いた栈木は手で引っ張ると簡単に外れた。スコップ

で掘ってみたが土に小石が混じって少し掘りにくい。送電線下の伐採地までトンガとハンマーを取りに行った。



腐った栈木



平面を掘り出す



くい丸で固定

土留する平面が掘り出せたので、一番下に丸太を一本置き、その上に半割丸太を三本重ねて両側をくい丸で固定した。肝心な部分が順調に完成し、ちょうど12時になるので登山口に降りて昼食にする。恐る恐るモノレールのエンジンキーを回した。エンジンはすんなり始動した。午前中エンジンがかからなかったのは荷物が重くてオーバードライブ気味になっていたためかもしれない。

登山口では湯川君が側溝の落ち葉を掃除していた。モノレールのレール支柱に引っかかっていた大量の落ち葉は全部林道に上げられ、水もよく流れている。一人では大変な作業だったと思う。登山口のベンチに座って昼食を摂る。湯川君は弁当持参で、すでに昼食を済ませたそう。昼食を済ませたところに、湯川君は帰宅した。積んできた砂に水が含まれていて、車の中がかなり濡れたそう。

再びモノレール終点に登り、補修個所の仕上げ工事を行う。



綺麗な側溝



補修終了



水平に仕上げた

布袋のガラを一袋持って上がり栈木の隙間に入れ、土を被せて端材を当ててハンマーで叩いて転圧を行った。下の段は少し太い丸太を一本加えて両側を鉄筋で留め、上に桧の丸太から切り出した板をネジ止めした。少し段差が高いようだが、板を付けてあるので上に付け足すのは簡単だ。一旦外していたプラスチックの板も打ち付けて補修工事は完了した。トンガとハンマーを元の場所に返し、道具類を片付けて登山口に戻る。

今日補修した場所の10mほど上にも崩れかけた段差があるが、こちらは今日の場所よりも狭く、構造も異なるので工法を検討中だ。登山口で、先日拾ってきた桧から板を切り出した。25×120の板を採ることが出来た。この板は香水水の水槽に使う予定だ。

(記；梶野)



もう一つの補修箇所



下山



板を切りだす

行動タイム

09:50 補給路登山口↓10:30 モノレール終点↓11:20 補修箇所 12:
06↓12:30 補給路登山口↓13:00 補修箇所↓モノレール終点 14:
20→14:30 登山口